

原発いらん！

山口ネットウラ

2025年10月12日の報告



オ446号

次の集まり

2025年11月9日(日) 13:30

周南市役所シビック交流室6

山口県庁は変だ。

環瀬戸内海会議の湯浅一郎さんと末岡一秀さん
さんが、中間貯蔵について県に申し入れをしよう
としたら、県は「他県に事務局がある団体の申
し入れは受け付けない」と言う。

しかし瀬戸内海の環境を守るために活動している
団体なのだから、事務局が岡山県にあるのも、
同じ瀬戸内海に面している山口県も無関係では
ないはず。
話くらい聞くのがあじだろう。

仕方なく又市々町議員連盟と祝島島民の会
と原発いらん！山口ネットウラの県内3団体で
同じ主旨の申し入れをしようとしたら、今度は紙
だけは受取るが一切の回答はしないと言う。

これでは県庁として県民に平等に接するべき
という原則さえ破つとんでいる。
山口県の担当部署による対応は、結果的には
村岡知事の関鎖的な対応として受け止められて、
県のイメージダウンは避けられない。

私たちが11月7日に県に申し入れようとして
いるのは次のとおりです。

- ① まだ事業計画は示されていない。この段階で
受入れの判断はできないはず。
- ② 昨年度産総研が明らかにした国東半島から大島
へとつづく60km×70kmの海底活断層の結果が
中電の調査結果には含まれていない。

代表者 小中 達
〒742-1513 山口県 熊毛郡
田布施町 麻郷 2208
Tel. FAX 0820-55-6291
振込口座(年会費 2000円)
(郵) 01590-5-27469
口座名「原発いらん！山口ネットウラ」
作製・印刷・発行 祝島
周防灘の自然を守る会
三浦 翠とメンバーズ

中間貯蔵施設の
危険は永遠に続く。
総立ちになって反対
しよう！

不十分な調査結果がある

- ③ もしこの海底活断層で地震が起きたら大変な
ことになる。

- ④ 港湾の工事に必要は、海岸部や海の調査が行
われていない。詳細な調査が必要。

- ⑤ 生物多様性、生態戦略が環境省が指定した
海洋保護区として破壊は許されない海域で
ある。

私たちが、この申し入れを10/29、上周町に、10/7に
県に行きます。

10月26日周南市で小出裕幸さんの講演会が
ありました。会場いっぱい、200名の参加。私たち
がどれほどの危険を永入におしつけられよう
としているかを改めて確信しました。

くわしくは次号で。
新聞記事 ↓ P ⑤

参加しよう！

11月15日 13:30~15:30

11・15反原発デー
県民集会

上関町総合文化センター

講演・「地形と地質から
見た上関への原子
施設建設の危険性」

広島県防災アドバイザー

越智 秀二 さんの話

田の浦ビークニック ＆ ビーチクリーン

次回は2026年1月
です。



お10月18日のビーチクリーンの様子はP ④に
あります。

の参加地域 田布施 下松 周南 宇部

① 小中さんより

中間貯蔵を止めるために何をしたらよいのか。
43年間、上関原発に反対して来たが、祝島の皆さんが補償へ金を受け取らなかつたことが反対の力のみなもとだった。

関西で原発だから引き受ける所がない「中間貯蔵施設を、上関が適地だと発表。山口県のためにはないません。

これを止めるために何をしたらいいか、みんなが考えよう。

② 現地のようす。

現地はガードマンが一人居るくらいで、今は静か。ただ浜に下りる道は草が生い茂り道も崩れている。

いつも現地の草刈りに協力下さいました平生所議の赤松義生さんが亡くなりました。赤松さんと共に40年にも及ぶ原発反対を通じて数々の汗と涙を忘れることはできません。本当にありがとうございました。

③ 柳井市議選。

12月7日投開票です。

定数16名に対し、10名以上の反対の人が立候補を表明している。

推進の議員、予定候補者はまわりの市民の多くが反対なのでオロオロしている状態。

今回は公明党の候補者も反対を表明。

源動力は田んぼや畑に立てたあの大きなポスターの看板。どこに行っても目につくので市民の意識が高まっている。

追悼

赤松義生さんが10月4日他界されました。永年平生所議をとりつづられ、毎年少中さんと、現地の草刈り作業に汗を流して下さっていました。上関原発の周いの中では、しんどい現地でがんばっていた方々でした。温かく、やさしいお人柄がなつかしく思い起こされます。安らかに眠り下さい。心よりご冥福をお祈りします。

④

中電もビラを配っている。はじめ2回くらい新聞折込みをしたが、新聞を取る人が減っている。で、郵便で全戸配布をした。中電のビラは、「使用済燃料と書いていて、核」の字を抜いている。市民をだまそうとしている。

⑤

中電が8月29日上関町に持参した「上関地点における使用済燃料中間貯蔵施設立地可能性調査報告書（ミニモデルの字を抜いている）」をよく見てみると、「上関原子力発電所建設計画のために1994年12月以後に実施した調査結果も活用した」と書いてある。

つまり、地質や断層については、「上関原子力発電所原子炉設置許可申請書」の結果が流用されているという事だ。

中電は2009年10月に「原子炉設置許可申請書」を国に提出。②

国は地震学者からなる「耐震意見聴取会」を設置。

2010年3月才一回審議を開始。

才3回の「耐震意見聴取会」の審議が終了した時点で各委員から「この資料ではこれ以上審議できないで一致。審議会は休会となった。」

※

当時の原子力保安院も、「データ不足、判断材料が不十分、耐震の重要性についての認識が甘い」と中電を批判。中電に新たな調査を指示。

その後3・11のフクシマの事故が起り、中電は何の調査もしていない。

中電は今回の調査の内容については何も公開していない。

※ 14年前に使った物にはならないと言われた資料を

そのまま流用し、その上今回のボーリング調査の結果も全く公開せず、中電が勝手に「適地がある」と言っているだけで、誰がそれを信じてしまうのか。

すでに14年前に、これは危険な原発や核施設を作るとはならないことがはっきりしているのだ。

◎ この事実を多くの人に広めていさまよう。

議会や報道でも取りあげてほしい。



⑥ 県知事選について。

・2026年2月8日投票開票。

柳井選挙区の県議有近真知子氏(弁護士)が立候補を表明。記者会見で中間貯蔵について回答できなかった。

保守分裂後の選挙となる。

市民連合では候補者を選考中。

○ 下松市議会定数は18、26年4月に市議選がある。

○ 岩国市の福田市長が、記者会見で、関西電力は、岩口市でも説明会を開くべきと発言。(9/30)

⑦ 「世界核被害者フォーラム」(10/5-6、広島市)に参加して。

80年頃から始まった核の時代。今やその被害は世界中に広がっている。

広島、長崎。

核実験場となった太平洋の島々、アメリカ

ロシア、オーストラリア、アフリカ。

ウラン採掘のインド、コンゴ、南アフリカ、オーストラリア、アメリカ。

劣化ウラン弾のイラウ。

原発事故のチェルノブイリ、福島。

事故だけでなくも原発は作業員のヒバクなしには動かない。

西処理工場の周辺では小児白血病が多発。

中でも、ウラン採掘の現場は今も、素掘りの

現場で多くの労働者がヒバクにさらされ、住民の生活環境が破壊され続けている。

ウランを採掘すれば、その精錬のために水が汚染され、土が汚染され、住民は不妊や出生異常にさらされている。

先進国のウランやレアアースを求めて、先住民の生活環境を壊すことは、核種地と呼ばれ、それを告発する住民は、暴力による生命の危険にさらされる。

いったん核に汚染された土地は人類にとっては永スに住めない土地になる。

③

故・森滝一郎さんの「人類は生きのびなければならぬ。そのためには核と手を切らなければならぬ」という言葉の真実をあらためて、深く考え行動しよう。

○ このフォーラムには海外10ヶ国から、19人が参加。同時に通訳と映像で現状を伝えた。

中でも、ウラン採掘現場の状況の深刻さが胸に突き刺さった。

日本政府や電力会社が、原子力はまるで自前のエネルギーであるかのように語るのには、その先の闇を隠すためのたとわかった。

中国新聞の社説です。P⑤



when	what	where	運
11月7日(金) 12:30~	山口県への申し入れ 「上関地点における便甲清核燃料 中間貯蔵施設、土地可能性調査 報告書に關して」 「上関原発」建設計画に反対する2市 4町議会議員連盟・上関原発を建 てさせない祝島島民の会・原発いらい 山口ネットワーク	山口県庁	0820-55-6291 (11中)
11月9日(日) 13:30~	原発いらい!山口ネットワーク例会	周南市役所3ビック交流 流室6	0820-55 -6291(11中)
11月12日(水)	朝鮮学校への補助金を復活せよ。 県庁前座りこみ	県庁前広場	0836-21-8003 鉢橋教会
11月15日(土)	反原発デモ県民集会 越智 孝二さんの話 デモ行進	上関町 総合文化 センター	原水禁山口 083-922-1841
11月30日	柳井市議選告示、12月7日投票	柳井市	
11月30日(日)	原発をつづけるための戦式「貯蔵」NO! 全口集会 @ 高浜	高浜町文化会館	老朽原発動か すは実行案 090-1965- 7102
11月30日(日) 10時~14時	クリュー・2025 オート47エスタ 2025	下松市地域交流 センターふくしの里	0834-34 -9550

イベント情報



45リットル袋×1
35リットル袋×6 プラスチック製品ゴミ

不燃物(アルミ缶、スチール缶、瓶)
15リットル程度

大人4名
子ども3名の参加者でした。
10/18 (土)

10月18日

田ノ浦ピクニック&ビーチクリーンの写真と感想

車停めてから2キロの赤線
帰りはゴミ袋持ってだから
ひいひい言いながら
いい運動になりました

田ノ浦から
対岸に見える祝島
その向こうの小祝島
ながしま
しだい地区
遠くには九州も見えました

この綺麗な瀬戸内海を核のゴミで
汚染させるわけには行かない
仮に施設をつくるには道路工事も
相当な大掛かりなものが必要であり
さらに環境を壊す

道路が整備されていて
緊急時もすぐに対応できる
都市部に作るべきと改めて
感じましたね!
次は1月みたいだからまた参加します

吉安新太

裁判のこと。

祝島島民の会の裁判

20回、山口支部

2025年12月25日(木) 10:30

伊予原発差止の裁判(3回・山口)

2026年2月26日(木) 11:15

判決

10月28日。祝島島民の会を代表
5団体、上関原発予定地の
埋立免許の取り消しを求める
申し入れをした。

祝島の漁民は誰一人漁業
補償金を受け取っていない
のに県の中間に埋め立て免
許を与えているのはおかしい
と言った、県の港湾課は、
「次口でくわしく」

「危険を永遠に負う」小出氏



日本にはエネルギー資源が少ないと説明する
金田社長

「原子力の旦」の26日、山口県上関町と周南市で、中国電力が上関町で検討する使用済み核燃料の中間貯蔵施設や、原子力発電所をテーマにした講演会があった。

の中間貯蔵施設や、原子力発電所をテーマにした講演会があった。

周南市では、元京都大原子炉実験所助教の小出裕章さん(76)の講演会があった。建設に反対する同市の住民グループ「中間貯蔵施設を考えよう周南の会」が主催し、約200人が参加した。

小出さんは高速増殖炉もんじゅの廃炉などを挙げ「核燃料サイクルはできず破綻している」と指摘。上関町の間中貯蔵施設について「原発再稼働を進める関電の使用済み燃料の受け入れが動機。都会では引き受けられない危険を永遠に負う」と警鐘を鳴らした。

(加田智之、井上龍太郎)

小出さん、は
核燃料サイクルは破
綻している。
いったん使用済核
燃料の持ち込みを計
たらその量はどん
どん増えるぞんね
は大変!!
外に持っていくとこ
ろはありのうと
発言止。

推進派の論理は、すでに破綻して消えてしまった。
核燃料サイクルや再処理とよるなどあるのかのように語る。
一般市民に嘘をついてもだませると田舎をいふのたうう。
だましても、とにかく使用済核燃料を処理入れさせ
ていふえば、当面の問題は片づくと考えられているのだ。
だまされない市民になろう。

10/8 中

情を共有した意義は大きい。

原点には、被爆地から反核運動を率いた故森澤市郎氏の思想がある。核が存在する現状の認識でなく、「核と人類は共存できない」という人間の側のリアリズムを再確認す

る機会になったといえよう。

2021年に締結した核兵器禁止条約は、前文に「ビバ

民の力で核権力包囲を

のためのウラン採掘や精錬で被曝した人たちがいる。

セシウムでは、広島原爆のウランが採掘された、アフリカ中部コンゴ(旧ザイール)の鉱山労働者の実情が紹介された。米国の核実験場で被曝を強いられた先住民や移住を余儀なくされたマッシュル諸島の人々とその子孫への影響(チェルノブイリ)原発事故による影響も報告された。ウラン採掘から精錬、開発に連なる核のサイクルを断たなければ、人類はいつでも核の被害者になり得る。

フォーラムが全体を通して突き付けたのは、核利用の背景にある「植民地主義」だ。例えは欧米やアジアの巨大な

企業体が、小国や先住民族の貧困につけ込み、資源や労働を搾取する構図である。

大國の安全保障や経済活動が、弱い立場の人々の犠牲の上に成り立っている現実を私たちは直視せねばなるまい。それを許している構造的課題にも厳しい目を向けていくことが不可欠だろう。校長講義そのものを否定するだけでなく、核を操る権力や構造的切り込んでいく必要がある。

肝心なのは、これからである。フオーラムで得た力を、どう生かすのかが問われる。

世東の核政策の実情に触れ「核絶対否定」の思惑にまつた経緯氏はかつて、危機を食い止める力は一般民衆の叫びと行動——たゞ被爆地市民に呼びかけた。改めて市民の連帯と行動が問われている。

2025-10-08

關連する新聞記事

- (9/28日) 洋上風力頓挫が相次ぐ。10ヶ国・地域で入札中止や延期、原料高で開発コスト増。
 (9/28日) エンジン車禁止、撤廃求める。EUの方針に、ドイツのメルツ首相。
 (9/25九州スポート) 西エネ普及、待た、加が中アコモニアが代替候補として注目。
 (9/25日) 美浜原発新式貯蔵審査合格
 (9/25日) 山陰合銀系が蓄電所
 (9/26日) 原発、石油火山廃止へ
 (9/26日) 新潟の洋上風力工事、1日開始。
 (9/26日) デブリーム採取延期、26年度に。
 (9/27日) 送電網維持へ電気代上げ、北海道電、東北電。
 (9/27日) 再エネ軸に経済循環を、岩手県宮古市。
 (9/27日) 電気ガス代全社値上げへ
 (9/27日) トルコ、初の原発に遅れ、建設担うロシア側、資金金難。
 (9/27日) 世界の核被害、実態は、小島で5、6日、当事者集うフォーラム。
 (9/29日) 岩手県対策8道府県で完了。原子力災害対策本部のオフサイトセンター、島根や岡山、追加整備が必要。
 (9/30日) 処理水海洋放出の目録完了。
 (9/30日) 柏崎刈羽再稼働エネ庁が説明へ、新潟県議会。
 (9/29日) 玄海4号機に不具合。
 (10/1日) 立ち上がる排出量市場、発電コスト増大の心配、エネ供給構造の改革促す。
 (10/1日) 中国電、経常益100億内に、30年度目標を上方修正。島根原発を最大限活用。
 (10/3日) 湯水発電需給調整に強み、天候で左右の再エネ補完。
 (10/3日) 柏崎刈羽 県民調査の賛否拮抗、知事「適切な時期に判断」
 (10/3日) 韓、李政権、西エネ2倍、洋上風力普及へ新チーム、台湾も洋上風力支援
 (10/3日) データセンター分散へ実証、再エネ利用広げる。
 (10/4日) 太陽光パネル再利用率後退、メーカー負担の制度設計
 (10/4日) 川型風力発電、運転開始、近ガス、北海道。
 (10/2日) 福島カーン原発3号機ドローンで内部調査、来月にも。
 (10/2日) 柏崎刈羽の県民意見調査、再稼働「条件整う」37%、新潟県中報告
 (10/6日) 広島で世界フォーラム「ふた合わせ」核被害根絶へ、植民地主義や健康問題指摘。
 (10/6日) 核被害者連帯を確認、世界フォーラム開幕。
 (10/6日) 風力・三菱商事がウクライナ、GEもアマンも断った。



- （10/7中）「核と人類は共存すべき」と島宣言など採
取。世界から核の汚染はなくせと世界フォーラム周
幕。

（10/7日）東南アジア風力発電に追い風。

（10/8中）社説、核被害者フォーラム・民の力で「核確
力」包囲を。

（10/10）蓄電所ビジネス開電が首位狙う。30年代に原発
一基を整備。

（10/11日）風力・三菱商事が「2.」国にも目をあつた。

（10/17日）脱炭素電源立地投資促す。政府方針工
場新設に補助金。

（10/18日）風力・三菱商事が「3.」消滅シンの町追っ
打ち。

（10/18中）浜岡一号機原子炉解体開始。

（10/19日）柏崎刈羽再稼働国の玉手箱を置く。エネ政策
前面出て説明必要。

（10/19日）千葉に海底ケーブル工場。古河電工、再エネ由来の
送電向け。

（10/19中）島根原発に新燃料搬入、中電2号機用。
トランプで。

（10/19日）曲がる太陽光電池、30年度量産。リコー、ア
ジエトが90万世帯分。

ペロブスカイト太陽電池の 世界市場は拡大

年	市場規模 (兆円)
2022年	0.1
23	0.1
24	0.1
25 (予測)	0.2
26	0.4
30	1.6
35	2.4
40	3.8

（出所）富士経済

政府は2040年までに
20GW(キガワット)分を普及させる目標

（10/9日）東電、新潟県支援へ基金、100億円規模。柏崎
刈羽再稼働にらむ。

（10/10中）「3.」原子炉接近か、玄海原発が7月目撃。
敷地内外「橋」描く。

（10/11日）柏崎刈羽避難難路国が負担。

東電支援基金、不信感募りつつ。新潟市市町。

（10/17中）再稼働に躍起。施策遅延、東電、柏崎刈羽
6.7号機同意に見通せず。

（10/17中）柏崎原発1、2号機廃炉へ。東電6号機
再稼働が前提。新潟県議会で表明。

（10/17中）ドイツ政府招待。エネルギー事情、欧州。全17基
停止後。

（10/19中）再エネ設備、国産化停滞。海外製が圧倒的
シェアが壁に。

（10/21中）新燃料が転倒し、作業員1人けが。

島根原発2号機。

（10/15中）福島除染土9省庁に搬入。

（10/13日）蓄電池の送電線「空押し」防止。経産省
接続申請に上限。

（10/15日）日本の電力先物に「年度物」欧州エネルギー取引
所。

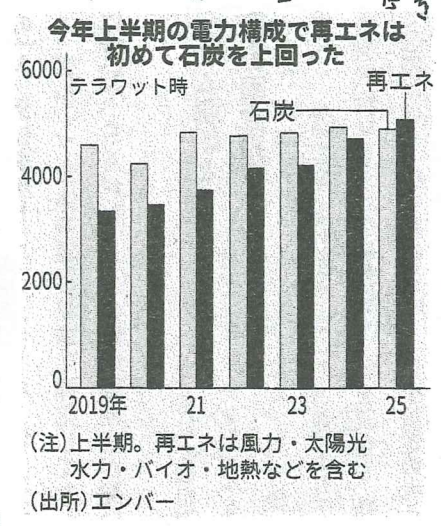
（10/15日）日立、送配電15万人採用。A-1特需対応へ3割
増。

（10/16中）島根原発1号機定期検査が終了。

（10/16日）県の文書不開示取り消し。地裁、対応違法
性を認定。

（記事のつづき）

- （10/16）南門海底送電線正式決定。年度内着手。30年代後半完成を目指す。
- （10/17）東芝、送配電投資24倍に。データ拠点、拡大で増強を計画。
- （10/17）再エネ、最大の電力源に。世界の電源構成比、石炭超え。再エネ、最大の電力源に。
- （10/18）女川2号機、来年12月停止。下り対策施設完成で再稼働。
- （10/21）自、経連立。原子力発電所の再稼働を進める。
- （10/21）福島。中核のこみ処。理優先。鋭不達。治部氏。
- （10/21）新技術で採る地熱発電。候補地地下も可視化。
- （10/22）薄い、軽い曲がる、次世代太陽電池実用化へ加速。
- （10/22）新潟県議会「再稼働、是非示す。柏崎刈羽、直接投票回避狙う」。



地域の関連記事

- （9/25）柳井市議会、中間貯蔵施設「建設反対」の請願を継続審議に。
- （9/26）長生炭鉱跡、坑口開き一歩、市民団体、遺骨回収集まら山口県。
- （9/26）下松市議会定数減之議（可決）。
- （9/26）中電と検討の中間貯蔵施設計画、周知への周知、関電社長明言せず。
- （9/27）「独自の支援考えこいなり」長生炭鉱の遺骨回収集まら山口県。
- （9/29）山陽小野田市議会選27人立つ。定数22。
- （9/30）中間貯蔵施設の周知、中電だけでなく、周知も説明責任。周知が県内の使用済核燃料を運ぶとも、2035年までに県外へ搬出する方針を同県に説明したことは…
- （9/30）周南市長、GX戦略地域ぜひ選定されたい。
- （10/1）自民王国、分裂の波紋、県連が出馬表明の有近況。内部統制疑問の声も。
- ・参政山崎氏立候補表明。次期衆院選山ロー区。移民政策慎重。山口3区に参政島村氏、食料安全保障強化訴え。
- （10/1）新人10人以上立候補。柳井市議会選、告示まで2ヶ月。定数16。
- （10/1）中電グループ経営ビジョン発表。40年度販売電力を2割増。島根3号機が収益向上。
- （10/1）中電233割原子力に。30年度以降島根2・3号機稼働前提。
- （10/1）貯蔵規模しかり検討。中電、関電と岩手県本格協議へ。

- （10/3）来々5月24日投票案、防衛市長選。
- （10/7）町田氏に出馬表明要請、自民公明などの4県議。
- （10/7）山口県議会開会、中間貯蔵施設反対の請願不採択。
- （10/8）立候補説明会に30陣営。定数16の柳井市議会選。新人多数候補模索。
- （10/9）中電、上関周辺の4市町で。説明資料を全一配布。中間貯蔵は立地可能。
- （10/9）知事選、統一候補擁立へ。市民団体と立、共、社、の組織。
- （10/9）下松市議会選4月12日投票。
- （10/14）知事選の候補決定に至らず。市民連合。
- （10/17）幻想的アワセ選挙。周防大島沖の群生地。
- （10/17）光市議会定数協議へ。下松の削減決定踏まえ。
- （10/20）中電貯蔵施設計画議会。賛否相次ぐ。上関、建設に賛否、周辺4市町市長見解示す場面も。
- （10/21）PFAS指針値超え。市民団体調査、3回目。山口県内のみ採取。核燃料の所有者や批准求める議会が意見書。
- （10/22）長生炭鉱跡、12月19日までの鑑定と。照会要請。回収の民間団体。

上関町と周辺市町の議会での主なやりとり		
市町	議員の質問	首長の答弁
上関町	原子力財源を活用した政策を議論する時期	議会も現実を見てまちづくりの政策議論をしてほしい
	地元を無視する姿勢の関西電力を信頼できるのか	事業計画における役割が示されていない中では申し上げることはない
柳井市	結論の先延ばしは消極的な賛成か	国などの説明の先にある民意を見極めるプロセスが必須
田布施町	国や事業者は、計画を推進する立場からの説明になる	賛成、反対双方の専門家を招いたシンポジウムを開きたい
平生町	適地判断が出たが住民は不安に思っている	調査データが正しいのかを国が町民に説明する機会を設けたい
周防大島町	専門家を招いた説明会は開くのか	1市3町で協議する

